

## くまもとのタネと食の未来は、いまここから♪

主催：くまもとのタネと食を守る会

第1回

11月24日(日)  
14:00~17:00熊本県教育会館 5Fホール 資料代800円  
定員120名

## タネをまもる、いのちをつなぐ ~世界に広がるアグロエコロジーとは~



2050年までに100万種を越える生物が絶滅し、人類は危機的状況を迎えることが確実視されている。なのに、遺伝子組み換え企業による種子の独占は強まるばかり。いま、多様な地域の種子を守ることの重要性を、微生物の視点も交えて考えます。

## 講師：印鑰智哉(いんやくともや)氏

アジア太平洋資料センター(PARC)、ブラジル社会経済分析研究所(IBASE)、Greenpeace、オルター・トレード・ジャパン政策室室長を経て、現在はフリーの立場で世界の食と農の問題を追う。

第2回

1月26日(日)  
15:00~17:00アートロフト(現代美術館内)  
定員90名

資料代800円

## いのちをつむぐタネと安心な食を次世代へ



発達障害と農薬の関連が指摘されている。農薬企業は生物特許による利益を狙って遺伝子組み換えに参入し、ゲノム編集でも中心にいる。ターゲットは農薬と遺伝子組み換えの規制緩和を続ける日本。対抗の道を考えます。

## 講師：安田節子(やすだせつこ)氏

1990年~2000年 日本消費者連盟で、反原発運動、食の安全と食糧農業問題を担当  
2000年11月「食政策センタービジョン21」設立 2002年~2004年環境政党「みどりの会議」副代表委員  
現在「食政策センター ビジョン21」主宰人

第3回

2月9日(日)  
13:30~15:30くまもとパレア 会議室1  
共催：パレアまつり 定員100名

資料代800円

## ゆたかな暮らしを未来に ~農本主義のすすめ~



本来の農には経済活動に還元されない様々な側面がある。土に触れ、たくさんの生き物に触れ、人と交わり、小さいいのちと交感し合う...私たちが忘れてしまった豊かさの本質を問い直し、地に足の着いた、自立・調和した生き方を考えます。

## 講師：宇根豊(うねゆたか)氏

農と自然の研究所代表 農水省生物多様性戦略検討会委員  
東京農業大学客員教授 人間環境大学講師 農学博士

くまもとのタネと食を守る会 事務局

お問い合わせ先

TEL 080-9562-1087

食の「安全・安心」を本気で学び・考え・行動する。

生産者



消費者



くまもとの  
タネと食を  
守る会

環境に配慮した安全・安心な食べ物を扱っている  
団体・店舗・それらを求める消費者の  
ネットワーク化を目指します

◆賛同される方のメーリングリストへの登録を随時受付しています

Mail: [save.seedfoodkuma@gmail.com](mailto:save.seedfoodkuma@gmail.com)



## 第1回勉強会協賛団体

グリーンコープ生活協同組合くまもと  
ママトコキッチン  
有機無農薬の百草園  
消費者の会・千草会  
(有)くまもと有機の会  
熊本いのちと土を考える会  
九州産直クラブ  
NO WAR 熊本  
NPO法人あめのゆみRainbowProject九州  
熊有研種苗部  
阿蘇自然守り隊  
木のいえ設計室くわくわ  
日本ミツバチを守る熊本の会  
花鳥村アンナプルナ農園  
玉名牧場  
クルンノウエン  
たかちゃん自然農園  
嶋田自然農園  
熊本県農業者連絡会  
英語アカデミー  
よかたま市民ネットワーク  
たから農園

## ◆これまでの活動

2019年  
3月「わたしたちのタネと食はどうなる！？」勉強会開催  
(講師:山田正彦氏)  
5月 主要農作物種子法条例化実行委員会 発足  
6月 シンポジウム「主要農作物種子条例をめざして！」開催  
7月 上記実行委員会を「くまもとのタネと食を守る会」へ改称  
9月 熊本県議会へ「主要農作物種子法廃止に際し、市民の食糧主権と食の安全を守るため、熊本県独自の条例化を求める」請願提出  
9月 県議会で条例化が決定

◆第2回・第3回勉強会の協賛団体を募集しています。

団体／1口 2000円 個人／1000円

詳しくは事務局までお問合せください。

facebook



くまもとのタネと食を守る会

